

「東ジュニア WS 報告書」

法学部 3 回生 米澤 美里

①概要

東アジアワークショップは8月17日から23日にかけて行われた。その内容は2日間のフィールドワークと2日間の研究発表であった。18日、19日はフィールドワークで、台北の各所を回った。20日、21日の午前にはジュニアワークショップが行われ、21日の午後にはシニアワークショップが行われた。

②フィールドワーク

フィールドワークでは社会学のテーマに関わる場所を中心に訪れた。1日目は午前国立台湾大学の歴史を知ることができるキャンパスツアーがあり、大学構内を歩いて回った。大学の初代校長の墓が構内にあり、驚いた。午後は大稻埕(DaDaoCheng)と中山(zhongshan)を訪れた。大稻埕は歴史のある街並みが魅力の街で、家のドアや窓の展示を見たり、AMA×ANNA museum に行った。私の所属するゼミに関連があるテーマで勉強になった。中山では映画館に行った。

2日目の午前華新街(Huaxin Street)に行った。ミャンマーの人々が住む地域で、ミャンマー語でかかれた店の看板などがよく見られた。午後はLittle Indonesia と南機場(Nanjichang)へ行った。Little Indonesia は台北駅のすぐ近くで都会にそのような地域があるというのが驚きだった。台湾大の生徒によると駅の西側と東側で富裕層と貧困層が分かれており、差別が存在しているとのことだった。また、日曜日は仕事がお休みのため、台北駅の中央広場で大勢のインドネシア系の人々が集まって談笑したり踊ったりしていたのが印象的だった。南機場は日本の植民地時代に陸軍の空港があったことが名前の由来となっている場所である。現在では軍人とその家族、低所得層が住んでいる地域であり、建物が老朽化しても建て替えるには一時立ち退きをしなければならず、問題になっているようだった。フィールドワークで訪れた場所の中には普通の観光では行かない場所も多く、興味深かった。

③発表

私は日本での外国人学校をテーマに発表をした。準備は6月から始めたが、結局、前日まで準備していた。落合先生とハイム先生に指導していただいたおかげでなんとかパワーポイントを完成させることができた。英語でプレゼンをするのは初めてだったので内容が伝わるか心配で緊張したが、発表後、休憩時間に発表についての質問を受け、プレゼンの内容が伝わったのが分かり、嬉しかった。発表を通して前より度胸がついたと思う。昼食、夕食時にはワークショップのテーマに関連のある話題が多く出ていた。実際に台湾、韓国の人から現状やそれに対する考えを聞くことができ、面白かった。他の人の発表を聞いて、様々な分野に興味を湧き、もっと勉強しようと思った。また、英語を話すのが難しくて困った場面が何度もあったので、普段から英語で話す機会をもって、話せるようになりたいと思った。

④進路への影響

ワークショップの間に他の人と話していて、大学卒業後何をしたいか、ということを度々聞かれた。私は自分の進路を既に決めていたが、話を聞いていて他の進路にも目を向けてみようと思った。